

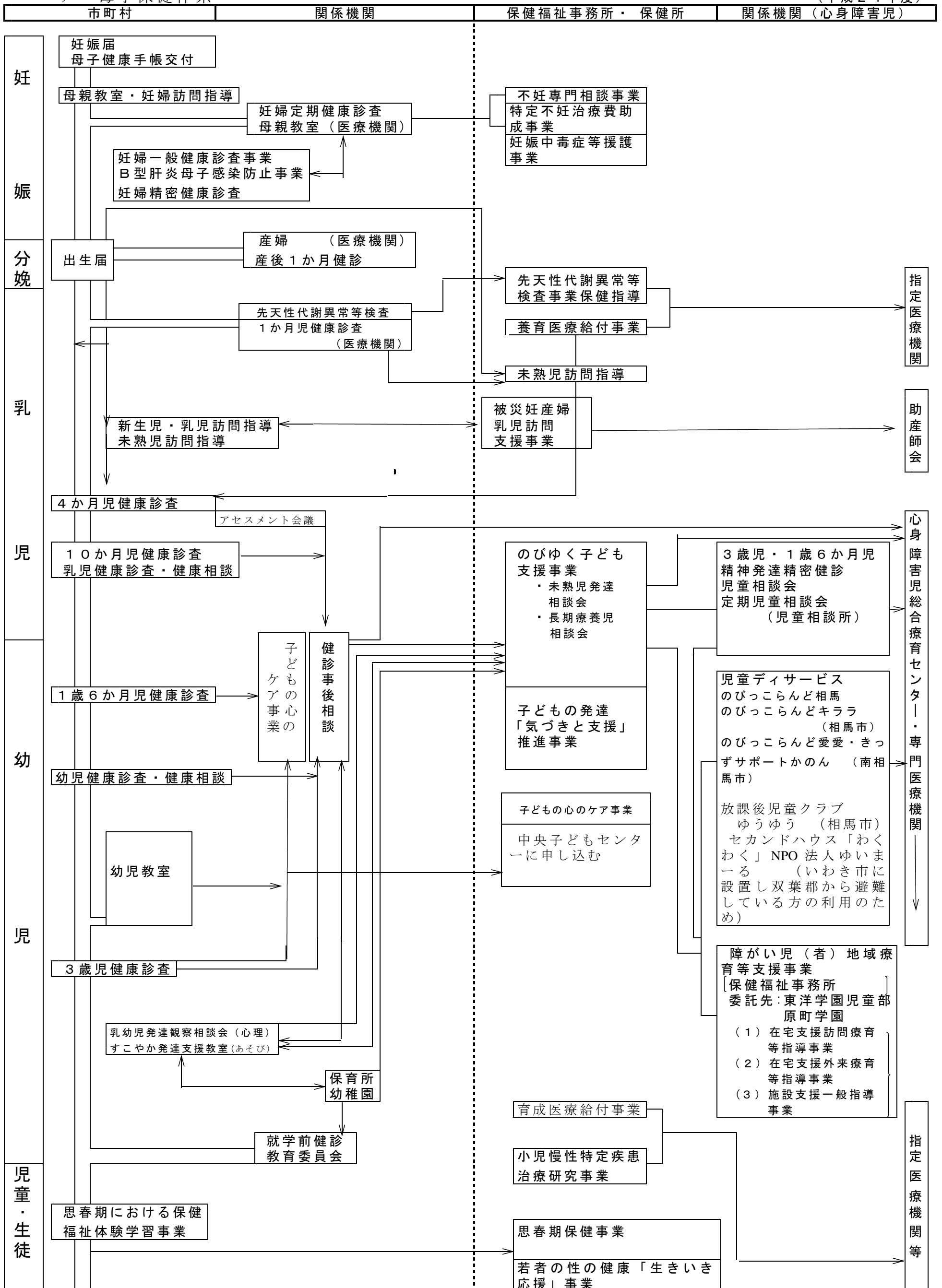
# 第7 児童家庭支援の推進〔保健福祉課児童家庭支援チーム〕

## 1 母子保健

### (1) 母子保健対策の推進

#### ア 母子保健体系

(平成24年度)



## イ 妊娠届出状況

平成24年度の妊娠届出件数は、避難により、平成20、21年度の半数前後になった。

把握できた状況では、満11週以内が9割弱となっている。満28週以降の妊娠末期や産後の届出も見られた。また、届出不詳が2件あった。

市町村	合計	日本人	外国人	満11週以内	満12週～19週	満20週～27週	満28週以上	不詳
相馬市	347	346	1	310	29	5	1	2
南相馬市	269	267	2	235	34	0	0	0
広野町	33	33	0	27	4	2	0	0
檜葉町	52	52	0	45	6	1	0	0
富岡町	86	86	0	79	6	1	0	0
川内村	10	10	0	9	0	0	1	0
大熊町	79	78	1	69	10	0	0	0
双葉町	30	30	0	22	8	0	0	0
浪江町	79	76	3	67	9	2	1	0
葛尾村	11	11	0	10	1	0	0	0
新地町	46	46	0	43	3	0	0	0
飯館村	34	34	0	30	3	1	0	0
24年度計	1,076	1,069	7	946	113	12	3	2
21年度計	1,669	1,657	12	1,428	207	17	9	8
20年度計	1,691	1,670	21	1,347	288	32	13	11

※平成22、23年度は、東日本大震災等の影響からデータがない。

## ウ 乳幼児健康診査等実施状況

(ア) 1歳6か月児健康診査実施状況（一般健康診査）

市町村	対象人数	受診人数	受診率	実施回数	健康診査結果		異常ありの内訳（延べ人数）						
					異常なし（人）	異常あり（人）	要指導	要観察	要精検	要治療	治療中	他機関紹介	その他
相馬市	286	269	94.1	12	151	118	27	83	7	4	25	0	0
南相馬市	179	174	97.2	12	60	114	83	104	4	1	36	0	0
広野町													
檜葉町													
富岡町													
川内村													
大熊町													
双葉町													
浪江町													
葛尾村													
新地町	58	51	87.9	4	34	17	13	4	0	0	0	0	0
飯館村													
24年度計	523	494	94.4	28	245	249	123	191	11	5	61	0	0
21年度計	1,667	1,581	94.8	83	976	605	159	411	19	26	200	5	2
20年度計	1,714	1,647	96.1	83	1,145	502	149	348	21	6	164	5	

※1平成22、23年度は、東日本大震災等の影響からデータがない。

※2平成24年度は、双葉郡町村及び飯館村が役場機能移転により健診を実施できなかった。

(イ) 3歳児健康診査実施状況（一般健康診査）

市町村	対象人数	受診人数	受診率	実施回数	健康診査結果		異常ありの内訳（延べ人数）									
					異常なし（人）	異常あり（人）	要指導	要観察	要精検			要治療	治療中	他機関紹介	その他	（再）心理相談
									視聴覚以外	視覚	聴覚					
相馬市	294	283	96.3	12	128	155	49	49	8	13	1	6	62	2	0	57
南相馬市	243	238	97.9	12	95	143	89	102	9	20	6	1	24	0	0	52
広野町																
檜葉町																
富岡町																
川内村	2	2		1	1	1		1								
大熊町																
双葉町																
浪江町																
葛尾村																
新地町	46	45	97.8	4	14	31	9	11	1	0	10	0	0	0	0	0
飯館村																
24年度計	591	568	96.1	29	238	330	147	163	18	33	17	7	86	2	0	109
21年度計	1,724	1,634	94.8	84	803	831	212	367	36	39	198	135	210	7	8	215
20年度計	1,737	1,657	95.4	86	824	833	208	332	35	43	232	288	219		0	169

※1 平成 22、23 年度は、東日本大震災等の影響からデータがない。

※2 平成 24 年度は、双葉郡町村及び飯館村が役場機能移転により健診を実施できなかった。（但し、川内村のみ帰村後に臨時で実施）

(ウ) 先天性代謝異常等検査事業

フェニルケトン尿症等の先天性代謝異常や先天性副甲状腺機能低下症（クレチン症）等の早期発見・早期治療を行うため、県内で出生し、その保護者が検査を希望する全ての新生児を対象に、血液によるマススクリーニング検査を行っている。この検査を受けた児の結果を確認するとともに、必要に応じて医療機関との連絡、対象児・家庭への事後指導を実施している。

<先天性代謝異常等検査事業精密検査結果>

（単位：人）

年度	経過観察	フェニルケトン尿症	メープルシロップ尿症	ホモシチン尿症	ガラクトース血症	先天性甲状腺機能低下症	先天性副腎過形成症
平成24年	0						
平成23年	0						
平成22年	4					1	1

※平成 23 年度は保健福祉事務所に精密検査の届け出があった事例のなかで問題はなかったが、東日本大震災により避難先で受診したケースは含まれず正確な数は不明である。

エ のびゆく子ども支援事業

(ア) 長期療養児交流・相談会

平成 24 年 8 月 17 日、いわき明星大学准教授を講師に迎え開催した。

テーマは、「病気と向き合って生きることをとおして～負けないで生きよう」と題し、小児慢性特定疾患を有する子とその保護者が参加した。

内容としては、病気などに対する子どもの心理、親の対応、地域との連携等を学び交流を図った。震災後初めての開催で数名の参加者だったが、参加した方々からは、「前向きに生きていきたい。」との声が聞かれた。

(イ) 未熟児発達相談会

未熟児を育む保護者が、児の発育・発達に関する相談や療育相談、遊び等の適切な指導・助言を得て、交流会による仲間づくりや情報交換を図り、安心して育児ができるよう支援することを目的に開催した。

開催日	場所	参加者数	内 容
平成 24 年 7 月 27 日	相馬市保健 センター	児 5 名 保護者 4 名	・小児科医師との相談会 ・交流会 ・ヨガ講師による親子体操
平成 24 年 9 月 5 日	相馬市保健 センター	児 6 名 保護者 5 名	・理学療法士、臨床心理士との相談会 ・交流会 ・保育士による親子あそび

オ 身体障害児登録状況 (H25. 3. 31現在)

(単位：人)

市町村	視覚障害	聴覚平衡 機能障害	音声言語 機能障害	肢体不自由	内臓障害	計
相馬市	4	3		12	1	20
南相馬市	4	5		26	12	47
広野町		1		4		5
檜葉町				8	1	9
富岡町	1			4	2	7
川内村						0
大熊町		3	1	9	2	15
双葉町				2		2
浪江町	1	1		5	1	8
葛尾村				1	1	2
新地町				2		2
飯館村				1	1	2
24年度計	10	13	1	74	21	119
23年度計	6	14	1	73	21	115
22年度計	9	17	1	70	24	121

カ 被災乳幼児と家族の心のケア事業

(ア) 子どもの運動あそび教室

日常生活での運動習慣化の普及とストレスの改善を図ることを目的に開催した。双葉郡から相馬地域に避難している親子を主な対象とし、3回実施した。

時間 9：45～12：00

場所 南相馬市 テクノアカデミー浜

実施日	参加者	内 容
平成 25 年 1 月 19 日(土)	子供 16 名 保護者 9 名 託児 1 名	・保育士による手遊び ・3B体操協会スタッフによる親子運動あそび ・臨床心理士による講話「子どもにとっての運動と遊び」
平成 25 年 1 月 26 日(土)	子供 17 名 保護者 12 名 託児 3 名	・保育士による手遊び ・3B体操協会スタッフによる親子運動あそび ・児童家庭課保健師による講話「子どもにとっての運動とは」
平成 25 年 2 月 9 日(土)	子供 16 名 保護者 13 名 託児 3 名	・保育士による手遊び ・3B体操協会スタッフによる親子運動あそび

(イ) 子どもの心のケア事業実施状況

乳幼児とその家族に対し、市町村と連携・協働し、既存の事業を活用しながら効果的な心のケアを行うことで、心の健康づくりを支援する。

市町村	健診	親子あそび	その他	派遣回数	派遣人数	派遣専門職種
相馬市(保健センター)	○			24	45	臨床心理士
南相馬市	○		○	41	55	臨床心理士
川内村(保育所)			○	11	11	心理士、スポーツインストラクター
大熊町		○		6	6	臨床心理士
葛尾村			○	2	3	保育士、ベビーマッサージ講師
新地町	○			23	23	臨床心理士
新地町(児童館)		○		2	2	ヨガインストラクター等
飯舘村			○	7	14	県北保健福祉事務所に参加
相双保健福祉事務所			○	2	4	臨床心理士、リトミック講師等
計				118	163	

キ 被災妊産婦・乳幼児支援事業

県助産師会への委託事業により産前産後の母子に対して、家庭訪問により、心と身体の健康と赤ちゃん育児支援を行う。

<助産師による母子訪問> (平成25年3月31日現在)

市町村	該当者数 避難前住所地	避難先訪問件数 (相馬郡に住んでいる或いは避難している方)		いわき訪問件数 (双葉郡等から避難している方)	
		実数	延数	実数	延数
相馬市	38	50	106		
南相馬市	24	15	35	2	2
広野町	2			2	2
檜葉町	2			2	2
富岡町	6			6	6
川内村	1			1	1
大熊町	14			12	15
双葉町	6			5	6
浪江町	6			6	6
葛尾村	0				
新地町	8	14	30		
飯舘村	0				
いわき市	1	36	40		
郡山市	1				
須賀川市	2				
県外	6	2	4		
合計	117	117	215	36	40

## ク 母子医療対策

### (ア) 未熟児養育医療給付事業

入院を要する未熟児に対し、養育に必要な医療給付を行っている。(平成24年度)(単位：人)

市町村	～1,000g	1,001g～ 1,500g以下	1,501g～ 2,000g以下	2,001g～	計
相馬市	0	1	4	0	5
南相馬市	0	0	1	0	1
広野町	0	0	0	0	0
檜葉町	0	0	0	0	0
富岡町	0	0	0	0	0
川内村	0	0	0	0	0
大熊町	0	0	0	0	0
双葉町	0	0	0	0	0
浪江町	1	0	0	0	1
葛尾村	0	0	0	0	0
新地町	0	0	0	1	1
飯館村	0	0	0	0	0
24年度計	1	1	5	1	8
23年度計	3	2	6	2	13
22年度計	4	2	10	2	18

※ 双葉郡及び飯館村については、原則医療費免除証明該当のため申請不要であった。

### (イ) 育成医療給付事業

身体に障がいのある児童、またはその疾患を放置すれば著しい障がいを残すと認められる児童で、手術等により治療効果が期待できる場合に、指定医療機関において医療給付が行われている。

(平成24年度)(単位：人)

市町村	障がいの種類(実人数)									計
	肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡感覚 機能障害	音声・言語・咀嚼 機能障害	心臓機能障害	腎臓機能障害	小腸機能障害	その他内臓障害	免疫機能障害	
相馬市	1			2	4			2		9
南相馬市	3							1		4
広野町										0
檜葉町										0
富岡町				1						1
川内村										0
大熊町										0
双葉町										0
浪江町										0
葛尾村										0
新地町	1									1
飯館村										0
24年度計	5	0	0	3	4	0	0	3	0	15
23年度計	0	2	0	9	4	0	0	2	0	17
22年度計	13	1	3	21	5	0	0	7	0	50

※ 双葉郡及び飯館村については、原則医療費免除証明該当のため申請不要であった。

(ウ) 小児慢性特定疾患治療研究事業

治療法が確立していない小児慢性特定の疾患の治療研究を推進し、その医療の確保と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担を軽減する。(平成 24 年度) (単位：人)

市町村	悪性新生物	慢性腎疾患	喘息	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	合計
相馬市	8	1	3	4	11	5	1	1	2	2		38
南相馬市	5	7	1	11	10	6	6	1	1			48
広野町				1	1	1	1					4
檜葉町	3			1	6							10
富岡町	2			4	1						1	8
川内村												0
大熊町	2				2	1	1		1	1		8
双葉町	1				2							3
浪江町	2	2			1		1	1	2		1	10
葛尾村				1								1
新地町	1							1	1			3
飯館村	1				6				1			8
24年度計	25	10	4	22	40	13	10	4	8	3	2	141
23年度計	26	10	2	21	36	12	8	5	8	3	2	133
22年度計	28	18	3	24	44	13	9	7	7	3	2	158

ケ 母子保健推進連絡会議等の開催

医療給付の権限委譲に伴って事務処理等について説明及び意見交換を実施した。

平成 24 年 10 月 11 日 (場所：相双保健福祉事務所)

平成 24 年 12 月 7 日 (場所：広野町保健センター)

平成 24 年 12 月 20 日 (場所：相双保健福祉事務所)

コ 対人保健サービス活動

○家庭訪問

(単位：人)

	妊娠	産婦	未熟児	長期療養児 及び心身障害児	その他の乳幼児	計
平成 24 年度	0	8	7	0	1	16
平成 23 年度	0	7	6	1	3	17
平成 22 年度	0	39	24	10	30	103

○電話相談 380件

○来所相談 120件

サ 思春期相談事業

○思春期相談ほっとライン事業

思春期の男女やその保護者等の思春期をめぐる悩みや不安等に対して、メール等による相談窓口を設置し、個別相談を受け付けている。

シ 若者の性の健康「生きいき応援」事業 (平成 24 年度は震災業務対応のため休止)

若者の性の現状が憂慮すべき状況にあることから、若者の望まない妊娠や性感染症を未然に防ぐため、「若者の性の健康圏域連携会議」を開催し、地域における思春期保健の連携・協力体制の強化を図る。

## ス 不妊専門相談事業

平成12年度より、不妊に悩む夫婦が気軽に相談できるように総合窓口を設置し、妊娠・出産に関する身体的、精神的悩みの相談や、不妊治療等に関する専門相談を受け付けている。

○相談状況（平成24年度） 来所相談 33件 電話相談 96件

## セ 市町村における母子保健事業への支援

市町村のスタッフ不足による保健師の派遣及び震災や避難等によって不安を抱えたケースへの心理相談や発達診断等の支援を実施した。

開催市町	事業名	支援内容	実施回数(延)	支援職員数(延)
相馬市	3ヶ月児健診	健診援助	1	2
	3歳児健診	健診援助	1	2
	健やか教室	健診援助	1	1
南相馬市	自立支援協議会発達障がい者支援部会	研修会講師	1	1
	リフレッシュママクラス	事業の運営支援	2	2
新地町	10ヶ月・1歳児健診	健診援助	1	1

## ソ 子どもの発達「気づきと支援」推進事業

発達障がいを早期に見出し、適切な支援が講じられるようにするため「気づきと支援普及研修会」を2回実施した。

	開催日	場所	参加者数	内容
第1回	H24.9.26	南相馬市原町保健センター	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「気づきと支援」ガイドラインの概要と導入に向けて学ぶ</li> <li>・発達障がいの早期把握と支援の重要性について</li> <li>～支援者の役割や地域における連携の必要性を学ぶ～</li> </ul>
第2回	H24.11.26	南相馬市原町保健センター	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がい児への地域における具体的支援について</li> <li>～事例をとおして学ぶ～</li> </ul>



## 2 児童福祉

家庭及び地域における養育機能の低下に伴い、児童虐待に関する相談は深刻な状況にある。

急増する児童虐待相談に適切に対処し、児童虐待防止法に定める責務を果たすため、関係機関及び関係団体の連携と相談援助体制の強化を図るとともに、虐待防止に関する広報啓発を行い、児童虐待の早期発見・早期対応を図る。

また、家庭内におけるあらゆる虐待を防止し、横断的かつ重層化した虐待防止体制づくりを行うため、関係機関で構成された「要保護児童対策地域協議会」が平成22年度までに管内全市町村に設置されたことから、当該協議会を核に地域内の要保護児童対策を強化していく。

### (1) 要保護児童対策の推進

家庭における児童福祉の向上を図るために当保健福祉事務所内には、浜児童相談所南相馬相談室が設置されており、市町村、児童委員等と連携をとりながら、在宅相談指導又は各種相談会等における専門的相談判定に基づいて、児童の養育に関する助言指導が行われている。

児童の福祉を優先した援助を推進するためには、学校、保育所、児童委員等、地域の各関係機関の協力による要保護児童の早期発見と早期の相談促進が求められているが、不登校相談等については重症化してからの相談がほとんどであり、問題解決のための処遇困難なケースが多くなっている。

また、急増する児童虐待や配偶者からの暴力などにより、児童や家庭を取り巻く環境が大きく変わってきており、家庭的で適切な養育のできる里親制度の普及促進と積極的活用を図ることが従来にも増して重要なものとなってきている。

なお、平成25年4月1日現在の里親の状況及び児童福祉施設への入所措置状況については、それぞれ(表1)及び(表2)のとおりである。

(表1) 里親の状況 (平成25年4月1日現在)

市町村	登録里親数(人)	委託里親数(人)	委託児童数(人)
相馬市	7 (2)	3 (2)	3 (2)
南相馬市	10 (2)	7 (2)	7 (2)
広野町	2 (0)		
檜葉町	1 (0)	1 (0)	1 (0)
富岡町	1 (0)		
川内村			
大熊町			
双葉町			
浪江町	5 (2)	2 (2)	2 (2)
葛尾村			
新地町	2 (1)	2 (1)	2 (1)
飯館村			
合計	28 (7)	15 (7)	15 (7)

※ ( ) 内は親族里親数

(表2) 児童福祉施設市町村別入所措置状況

(平成25年4月1日現在) (単位:人)

種別	施設名	市町村名													合計
		相馬市	南相馬市	広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	新地町	飯館村	管外	
児童自立支援施設	福島学園	1	1											1	3
児童養護施設	相馬愛育園	1	5					2							8
	いわき育英舎					1									1
	福島愛育園	3	2									1		4	10
	青葉学園				1			2							3
	アイリス学園	1											1		2
	堀川愛生園	1											1		2
	白河学園		2							1				2	5
	会津児童園		1												1
乳児院	若松乳児院	2		1											3
福祉型障害児 入所施設 (主たる対象 : 知的障害児)	原町学園		2										1		3
	東洋学園	1				2			1				1		5
	大笹生学園	2	1												3
	白河めぐみ学園														0
	白河こひつじ学園														0
	ばんだい荘わかば		1										1		2
医療型障害児 入所施設 (治療及び 独立自活への支援)	福島整肢療護園	1	3		1										5
	福島県 総合療育センター		1												1
	宮城県 拓桃医療療育センター														0
医療型障害児 入所施設 (治療及び日常生活の指導)	福島整肢療護園		1	1											2
独立行政法人 国立病院機構 重症心身障害児 入所委託	国立病院機構福島病院														0
	国立病院機構いわき病院														0
	国立病院機構宮城病院		1												1
	国立病院機構米沢病院														0
福祉型障害児 入所施設 (主たる対象: ろうあ児)	郡山光風学園														0
里親		5	2						3		1		1	12	
合計		18	23	2	2	1	2	4	0	5	0	1	1	13	72

### ア 市町村における「要保護児童対策地域協議会」等への支援

相馬市、南相馬市及び川内村の協議会の委員として出席し、要保護児童の早期発見や適切な保護のための支援を行った。

### (2) 子育て支援環境づくりの推進

子育て週間に、ポスターの配付による広報を行った。また、相双方部子育て支援連絡会議の構成員として、平成24年11月20日に連絡会議及び南相馬市立総合病院坪倉医師による講話を行い、子育て支援の環境整備について関係団体相互の連携強化及び情報交換を行った。

ア 保育所の状況

管内の認可保育所数は28か所設置されている。次世代育成支援対策推進法に基づき策定した市町村行動計画により各市町村とも地域の保育ニーズに応じた保育事業を展開している。

(表3) 保 育 所 の 状 況 (平成25年4月1日現在)

市町村	保 育 所 名	設置主体	定 員	入 所 児 童 数 現 員								充足率	待 機 児 童 数	各 保 育 事 業 実 施 状 況				
				0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳 以 上	計	地域子育て支援センター			休日保育	一時保育	障がい児保育	延長保育	
相馬市	中村報徳	法人	150	12	49	47	24	12	9	153	102.0	11				○	○	
	相馬	法人	120	11	19	30	31	19	26	136	113.3							○
	みなと	法人	170	21	40	29	30	31	34	185	108.8			○			○	○
	さくらがおか	法人	45	11	17	19	0	0	0	47	104.4							○
	小計		485	55	125	125	85	62	69	521	107.4							
南相馬市	原町あずま	市	115	/	/	/	/	/	/	0	0.0	0	○		○			
	原町なかま	市	100	/	/	/	/	/	/	0	0.0							
	原町さくら	市	100	/	/	/	/	/	/	0	0.0							
	原町聖愛	法人	90	1	6	9	13	13	22	64	71.1						○	○
	北町	法人	60	4	5	9	12	13	14	57	95.0						○	○
	よつば	法人	150	0	0	27	41	31	37	136	90.7							
	よつば乳児保育園	西町園法	法人	50	9	31	0	0	0	0	40		80.0					
	かみしま	市	108	7	21	33	25	26	20	132	122.2						○	○
	かみまの	市	60	0	2	9	13	5	4	33	55.0						○	
おだか	市	180	/	/	/	/	/	/	0	0.0								
	小計		1,013	21	65	87	104	88	97	462	45.6							
広野町	広野町	町	60	0	1	1	0	0	0	2	3.3	0			○	○		
檜葉町	あおぞらこども園(臨時)	町	20	2	1	5	/	/	/	8	40.0	0	○		○	○		
富岡町	富岡	町	110	/	/	/	/	/	/	0	0.0	0						
	夜の森	町	120	/	/	/	/	/	/	0	0.0							
	小計		230	0	0	0	0	0	0	0	0.0							
川内村	かわうち	村	70	0	0	2	2	2	3	9	12.9	0			○	○		
大熊町	大熊町	町	120	/	/	/	/	/	/	0	0.0	0						
双葉町	まどか	法人	100	/	/	/	/	/	/	0	0.0	0						
浪江町	コスモス	町	150	/	/	/	/	/	/	0	0.0	0						
	津島	町	30	/	/	/	/	/	/	0	0.0							
	なみえ保育園	法人	60	/	/	/	/	/	/	0	0.0							
	小計		240	0	0	0	0	0	0	0	0.0							
葛尾村											0							
新地町	新地	町	150	11	18	21	27	20	33	130	86.7	0			○	○	○	
	福田	町	90	0	6	12	18	17	20	73	81.1						○	
	駒ヶ嶺	町	90	0	4	11	7	13	12	47	52.2						○	
	小計		330	11	28	44	52	50	65	250	75.8							
飯舘村	やまゆり(臨時)	法人	40	0	2	0	0	0	0	2	5.0	0					○	
	合計		1,523	89	222	264	243	202	234	1,254	82.3	11	2か所	1か所	5か所	12か所	9か所	
	公立保育所	8か所	648	20	53	94	92	83	92	434	67.0	0	2か所	-	5か所	8か所	2か所	
	法人立保育所	9か所	875	69	169	170	151	119	142	820	93.7	11	-	1か所	-	4か所	7か所	

※認定こども園・・・檜葉町「あおぞらこども園」(H20.4.1開設)、川内村「かわうち保育園」(H20.4.1開設)、浪江町「認定こども園 なみえ」(H23.4.1開設)

※定員欄の合計はH25.4.1現在で開園している保育所の定員の合計

## イ 認可外保育施設の状況

平成13年に児童福祉法が改正され、平成14年10月から、認可外保育施設を設置したときは1か月以内に県知事に届け出なければならないこととなった。保健福祉事務所では、認可外保育施設に対し、毎年現地調査等を実施し、その運営状況の把握に努めている。平成24年度の調査時点における状況は（表4）のとおりである。

（表4）認可外保育施設の状況（市町村別・入所児童数別の施設数）

区分 市調査	事業所内保育施設			その他の保育施設				施設数 合計	入所 児童数
	～9人	10～19人	20人～	～9人	10～19人	20～29人	30人～		
相馬市	1							1	4
南相馬市				3				3	14
広野町									
檜葉町									
富岡町									
川内村									
大熊町									
双葉町									
浪江町									
葛尾村									
新地町									
飯舘村									
合計	1			3				4	18

※ 調査実施時期：平成24年12月12日～平成25年1月31日

### 3 ひとり親家庭等

県では、平成17年度から平成21年度までの5年間を計画期間とする「福島県母子寡婦自立支援計画」を改定し、母子家庭等の自立に向けた支援をより充実・強化するため、平成22年度から平成26年度までの5年間を計画期間とする「福島県母子家庭等自立支援計画」を策定し、国や市町村、関係機関等と連携を図りながら、計画の実現に向けて各種施策を実施していくこととしている。

保健福祉事務所では、母子自立支援員が母子寡婦家庭等の経済的な問題、児童の就学、就職の問題、その他身の上相談等にも応じ、その自立に必要な情報提供や指導を行うとともに、職業能力の向上や求職活動に関する支援を行っている。

平成24年度の相談受付状況は次のとおり。

母子自立支援員の相談受付状況 (平成24年度)

生活一般	児童	生活援護	その他	合計
247	82	874	0	1,203

また、父子家庭については、平成12年度からひとり親家庭医療費助成事業の対象になり、平成22年度からは自立支援計画の対象になるなど、援護施策の拡充が図られている。

母子家庭数、父子家庭数の状況 (平成24年6月1日現在)

市町村名	母子家庭数	父子家庭数	市町村名	母子家庭数	父子家庭数
相馬市	440	65	双葉町	62	23
南相馬市	557	28	浪江町	163	22
広野町	45	7	葛尾村	12	10
檜葉町	69	8	新地町	92	19
富岡町	143	31	飯舘村	59	12
川内村	17	10			
大熊町	127	25	計	1,786	260

(出典：県児童家庭課調べ)

母子家庭と寡婦の経済的自立と生活意欲の助長を図ることを目的に、「母子福祉資金」及び「寡婦福祉資金」の貸付を行っている。貸付の大部分は、就学支度資金や修学資金など、子どもの高校、専門学校、大学等への就学に要する費用のための貸付となっている。

(貸付状況は、次頁のとおり。)

母子寡婦福祉資金貸付状況

(平成24年度, 単位: 件、円)

資金の名称	新規貸付額		継続分貸付額		貸付額 (合計)		貸付利率	償還期限	備考
	件数	金額	件数	金額	件数	金額			
就学支度資金	3	1,060,000			3	1,060,000	無利子	10年以内	
高校									
専門・短大・大学	3	1,060,000			3	1,060,000			
修学資金	3	1,368,000	19	9,490,400	22	10,858,400	無利子	10年以内	
高校	1	216,000	6	1,538,600	7	1,754,600			
専門・短大			7	4,746,000	7	4,746,000			
大学	2	1,152,000	6	3,205,800	8	4,357,800			
修業資金							無利子	6年以内	
生活資金	1	411,600			1	411,600	(注1)	(注3)	
技能修得資金	1	251,500			1	251,500	(注1)	10年以内	
就職支度資金							(注1)(注2)	6年以内	
住宅資金							(注1)	6年以内	
その他									
計	8	3,091,100	19	9,490,400	27	12,581,500			

(注1) 保証人を立てる場合は無利子、立てない場合は年1.5%

(注2) 配偶者のない女子が扶養している児童にかかるものは無利子

(注3) 技能習得10年以内、医療介護・失業5年以内、その他8年以内

#### 4 女性福祉

当所では、女性相談員2名が、家庭や生活の問題、就職、離婚の問題等、女性にかかわるあらゆる相談に応じ、「女性のための相談支援センター」とも連携を図りながら助言・指導を行っている。

また、緊急に保護を必要とする女性については、「女性のための相談支援センター」において一時保護を行っている。

※「女性のための相談支援センター」による一時保護件数2件（うちDV関連1件）

なお、DV（ドメスティックバイオレンス）に関する相談指導件数が多いことから、引き続き関係機関との連携により、適時適切な相談援助を実施していく。

#### 相談指導延件数

（平成24年度）

人間関係	夫等	夫等からの暴力	52	経済関係	生活困窮	
		薬物中毒・酒乱			サラ金・借金	
		離婚問題	7		求職	
		その他	2		その他	1
	子ども	子どもからの暴力	1	医療関係	病気	
		養育困難			精神的問題	1
		その他			妊娠・出産	
	親族	親からの暴力	1		その他	
		その他親族からの暴力	3	住居問題	7	
		その他		帰省先なし	1	
	交際相手	交際相手からの暴力	1	不純異性交遊		
		同性間の交際相手からの暴力		売春強要		
		その他		ヒモ・暴力団関係		
		その他の者からの暴力		5条違反		
	男女問題	1	人身取引			
	家庭不和	1	計	79		
	その他					

※「婦人保護事業実施事業報告」による分類